

れ、新組織の在り方などさまざまな検討を行う予定だ。

都市内幹線道路の今後の整備予定

問 都市計画道路青江津島線の未整備区間と大元二日市町線(大元工区)の整備予定は。



都市内交通網の充実に向けて(青江津島線)

答 青江津島線の未整備区間である県道岡山倉敷線と都市計画道路中仙道南方線の間は、平成19年5月頃の片側一車線暫定供用に向け工事を進めており、21年度の全面開通を目指している。また、大元二日

市町線は、20年度開通を目指し、四車線化に向け拡幅改良を進めている。

環境美化条例の全面改正で美しく快適なまちづくりを

問 全面改正する環境美化条例の主な改正点は。

答 公共の場所での路上喫煙を指定区域を設けて制限すること 市、市民、事業者協働で重点的に啓発・美化活動を推進する指定区域を設けること それぞれの指定区域で状況が改善されない場合、特別区域として過料を適用すること 美化活動など地道な取り組みを行う個人や団体を顕彰すること を盛り込んでいる。なお、区域の指定に際しては、関係住民の意見を聴取し、関係機関とも協議する。また、事前に告示し、広報紙や啓発ポスター等で市民に十分な周知を図りたい。

AEDの設置

問 AED(自動体外式除細動器)について 公共施設への設置状況は イベント時の対応は 市職員等への研修は

答 平成18年度に七台購入

し、現在二十施設に設置している。今後も利用者数や利用形態を勘案し、必要性の高い施設から順次設置する。また、市立学校への早期配置も検討している AEDの貸し出しを検討している 18年度は、十回の普通救命講習会を行い、二百人が受講するとともに、小・中学校の教職員に対しAED使用法の講習会を三回実施し、百七十八人が参加した。

公明党

事業仕分けの財政縮減効果 平成19年度予算に反映

問 平成18年度の行政サービス棚卸し(事業仕分け)の評価は。

答 全二千三百三十一事業中、三百三十四事業の仕分けを完了し、廃止八十八件、事業縮小十五件、民営化・民間委託二十九件などにより、19年度予算へは、経常的経費等の見直しと合わせ約十七億二千万円の縮減を反映させた。このほか、将来の縮減に向け歯止めをかけた事業や費用対効果を高める工夫をした事業も多

数あり、多くの成果があった。この結果を新行財政改革大綱(短期計画編)の見直しに盛り込み、縮減額の拡大を図りたい。

本市製造のペットボトル水ブランド化に向けて

問 水道局が製造するペットボトル水「こっくん桃太郎おかやまの水」をPRし、ブランド化しては。



おかやまの水を全国へ発信

答 平成17年の通水百周年を記念して販売を始め、JR岡山駅、岡山空港、市内百貨店などの協力を得るとともに、

マスコミ等にも度々取り上げられるなど好評だ。今後も本市水道をより広くPRするため、引き続き製造・販売を行うていきたい。また、ブランド名を確実なものとするためラベルの商標登録を出願中である。

外国人観光客誘致で平成17年度宿泊客三〇%増

問 外国人観光客誘致に向けた施策は。

答 県、県観光連盟、倉敷市等と、「県国際観光テーマ地区誘客促進協議会」を組織し、外国語ホームページの開設や韓国、中国、台湾の旅行会社等の招請ツアーなどを行っている。また、受け入れ体制強化のため、県内の宿泊・観光施設や輸送機関等が主体で発足した「県外国人観光客受入協議会」にも参加しており、平成17年度の本市の外国人宿泊客は一万八千六百人、前年度比三〇%増と順調に伸びた。

市税の収納状況と未納者対策

問 平成18年度の市税の収納状況は 19年度からの未納者対策は。